

■スタートアップ支援施設運営事業について

1 スタートアップ支援施設運営事業の概要

(1) 目的

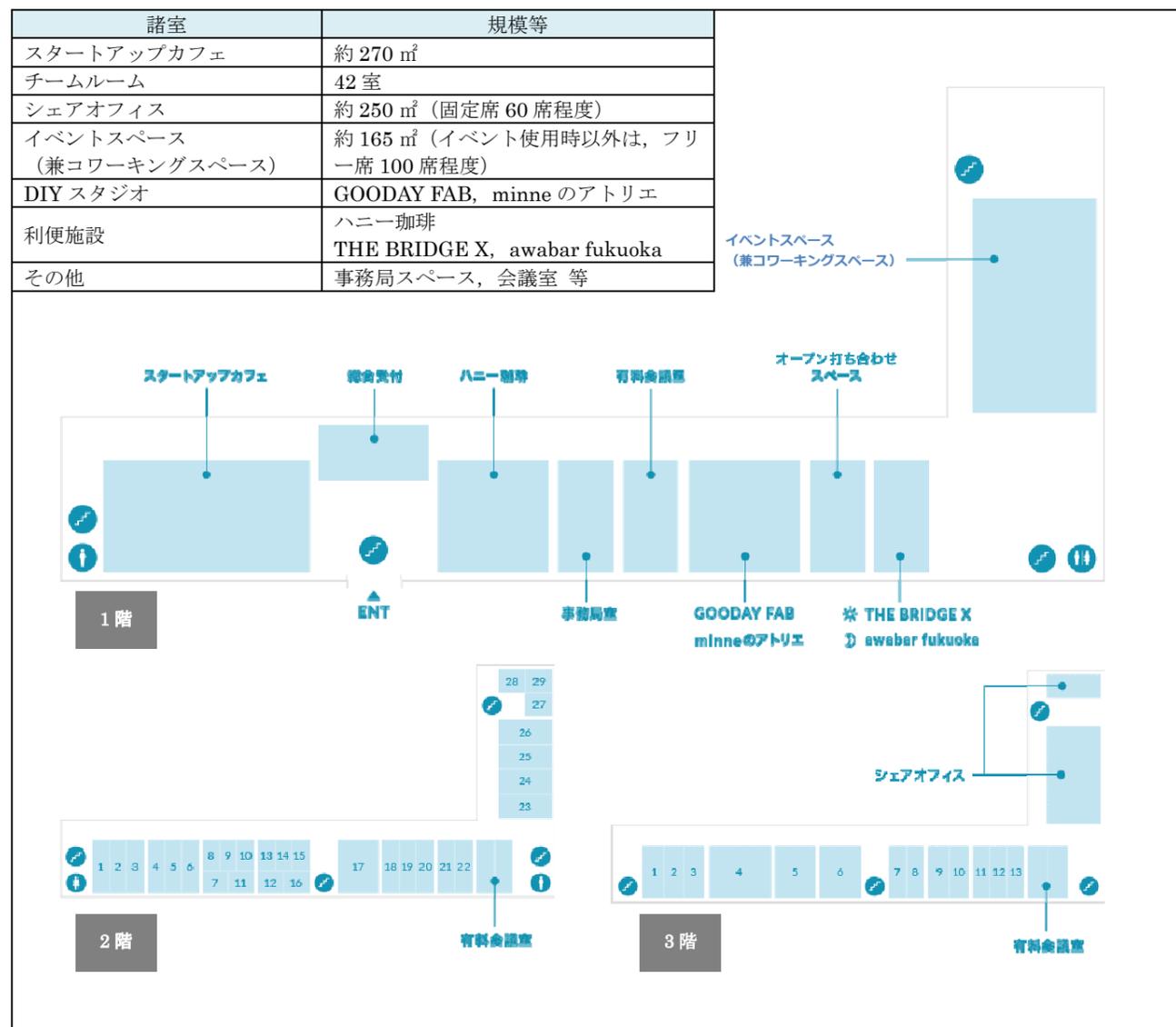
市内3カ所のインキュベート施設を集約し、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした官民共働型のスタートアップ支援施設を旧大名小学校校舎に整備し、スタートアップ企業のさらなる成長や既存中小企業の第二創業促進を図る。

(2) 実施主体

福岡市スタートアップ支援施設運営委員会（民間事業者と福岡市で組織）

(3) 整備施設

図 1-1 施設概略図



(4) 支援内容

教育支援プログラム、コミュニティ形成、資金調達支援など

(5) 施設の利用状況（平成 29 年 9 月末時点）

- ① 入居者数：約 150 社（個人・団体含む） 従業者数：約 300 人
- ② 来館者：1 日平均約 500 人
- ③ イベント：実施回数 約 170 回、約 21,000 人の参加者

表 1-1 主なイベント実績

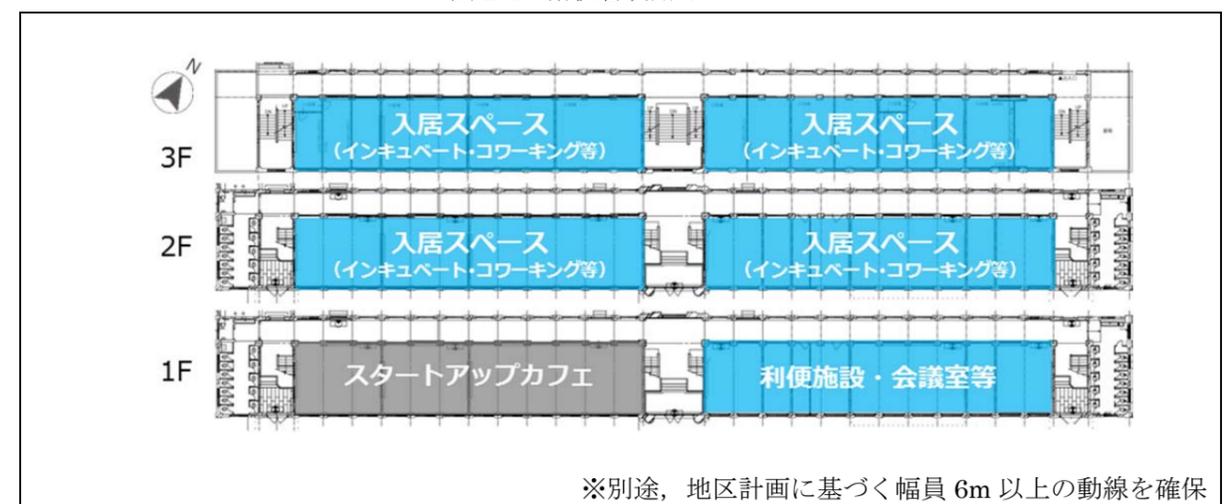
イベント名	対象者	参加人数
FUKUOKA BOOT CAMP (起業家育成一日プログラム)	起業家など	120 人
九州大学起業部設立イベント	学生, 起業家など	150 人
ドローン ミート フェス	起業家, エンジニアなど	1,000 人
国家戦略特区 3 周年イベント	起業家, 一般, 学生など	200 人
福岡ブロックチェーンエコノミー勉強会	起業家, 一般など	100 人
姉妹都市締結記念 ヤンゴンビジネスセミナー	起業家, 海外担当者など	110 人

2 今後の方向性

平成 30 年 10 月以降も旧大名小学校南校舎を活用してスタートアップ支援事業を継続し、まずは当初 10 年間を目安に校舎を活用することとする。

東校舎は解体することとし、南校舎については、老朽化に伴う改修を実施するほか、一部を改修し、地区計画に基づく幅員 6m 以上の歩行者動線の確保を予定している。

図 2-1 南校舎利用イメージ



※別途、地区計画に基づく幅員 6m 以上の動線を確保